

様式第3号（第4条関係）

被災宅地危険度判定士 **実務経験証明書**

下記の者は、
土木、建築または宅地開発に関する技術
土木、建築または宅地開発に関する業務

に関し、下記のとおり実務の経験を有することを証明します。

令和 年 月 日

証明者 職 名 _____
氏 名 _____

被証明者氏名	生年月日	年 月 日	証明期間	年 月から	年 月まで
職 名	主 な 経 験 の 内 容		期 間		
			年 月 日 から	年 月 日	日まで
			年 月 日 から	年 月 日	日まで
			年 月 日 から	年 月 日	日まで
			年 月 日 から	年 月 日	日まで
			年 月 日 から	年 月 日	日まで
			年 月 日 から	年 月 日	日まで
			年 月 日 から	年 月 日	日まで
			年 月 日 から	年 月 日	日まで
			年 月 日 から	年 月 日	日まで
			年 月 日 から	年 月 日	日まで
			年 月 日 から	年 月 日	日まで
合 計			年	ヶ月	

様式第3号の説明

「被災宅地危険度判定士実務経験証明書」記入上の注意

- 1 「実務経験証明書」の添付が必要とされた方は、必ずこの様式に実務経験内容の証明を行い、提出してください。
- 2 この証明書は、証明者が証明することのできる期間のみ一枚にまとめて記載することができます。証明者が異なる場合には、二枚以上に書き分けてください。
また、このとき「証明期間」が重複している場合は、重複している期間については、いずれか一枚の証明しか有効となりませんので御注意ください。
- 3 各欄の記入手順
 - (1) 証明文書中の「土木、建築または宅地開発に関する技術」と「土木、建築または宅地開発に関する業務」は、どちらかあなたが該当する方を一方だけ残し、他方を＝で消してください。
 - (2) 証明年月日は、この証明書を記入し証明者が証明を行った日を記入してください。
 - (3) 「証明者」となれるのは、あなたが「職名」欄に記載した役職を管理すべき役職にある方です。例えば、「××部〇〇課」に所属していた機関の証明は、「〇〇課長」または「××部長」の証明が必要となります（当然ながら「部長」より上位の管理者でもかまいません）。
 - (4) 「被証明者氏名」、「生年月日」の欄には、それぞれあなたの氏名、生年月日を記入してください。
 - (5) 「証明期間」欄には、「証明者」として記名した方が、あなたの実務経験について証明できる期間を記入してください。
 - (6) 「職名」欄には、証明期間内にあなたが就いていた役職の名称を具体的に（例えば「××部××課××係技術吏員」等）記入してください。
 - (7) 「主な経験の内容」欄には、「職名」欄に記載した役職にいた期間中にあなたが行った具体的な業務の名称を、概ね2年毎に一つ以上記載してください。
 - (8) 「期間」欄には、「職名」欄に記載した役職にあなたが就いていた期間を記入してください。
なお、期間は、「証明期間」欄と同様に月単位で記入し、その初日が毎月の1日でない場合には、最初の月を算入せずに記入してください。
 - (9) 「合計」欄には、「期間」欄に記入した期間の年月を記入してください。